

### 整枝・せん定の留意点

整枝・せん定は、今年の作柄を左右する重要な作業です。  
次のことに留意して進めてください。

- ①せん定前に園内を一回りし、花芽の状況と昨年せん定した幹や枝の状況を点検してください。
- ②基本は、どの枝・果実にも日光が当たり、薬剤が十分かかり、作業しやすいようにすることで、樹形にこだわり切り過ぎたり、着果量にだけとられて枝が混み過ぎたりしないようにします。
- ③せん定の順序は、間伐の必要があればまず行い、樹の上部から下部へ、太い枝から細い枝へと樹の高さを決めてから側枝で樹の大きさ・強さを調整します。
- ④樹勢の強い樹は間引きせん定を主体に行い、側枝の切り詰めや先刈りの強せん定は控えます。
- ⑤樹勢の弱い樹は強めに側枝を切り返し、先刈りを行い新梢の発生と伸長を促します。
- ⑥花芽が少なく弱い樹は、切り過ぎないように間引きせん定だけにとどめます。
- ⑦わい性樹を低樹高化する場合は間伐を前提にし、2～3年かけて取り組みます。一度に樹高を下げると強樹勢や着色不良、紋羽病の発生要因になるので注意してください。

